

京都市町村体制づくり支援交付金 自己評価調書

団体名： 笠置町

1. 平成27年度 市町村体制づくりの取組について【総括表】

計画の概要等	背景	本町は、過疎化が進むとともに自主財源である町税収入は一般財源の2割程度しかありません。そのため交付税に頼りきった財政運営となっています。また、社会資本の整備を行うに当たっては、地方債等を財源とせざるを得ず、財政硬直化の大きな要因となっている。		
	必要性	今後も税収の大幅な増収を見込むことが難しいうえ、少子高齢化に伴う住民ニーズの多様化・高度化に対応するためには、持続性のある財政力の維持が必要であり、経常的経費の更なる見直し等経費削減に努め、財源確保に取り組むとともに行財政改革を継続して推進して行く必要がある。		
	概要	平成23年度に策定した第3次笠置町行政改革大綱を基に、事務事業の見直し、職員の資質向上、行政サービスの水準の確保及び効率的な財政運営等の取組を進め、一層の行財政改革を推進するとともに、各種財政指標の改善に努めることを目的としている。		
	効果	本計画によって、施設等の長寿命化対策を始めとする様々な行財政改革の取組を一層推進することにより、財政負担の軽減を図り、持続的、安定的な財政運営の構築を図る。		
事業実施による効果について				
事業分類	事業名・実施項目	取組実績の概要	主な実績数値（出来高数値等）	事業効果（単位：人・千円等）
小規模市町村支援	施設等修繕事業	庁舎をはじめとする公共施設や公用車等については年々経年劣化が進み、安全かつ快適に使用し続けるためにはメンテナンスや修繕等が必要となります。そこで、法定点検項目や機器設備等の庁舎管理上必要な点検等を実施するなかで実態把握に努め、経年劣化を最小限に留めることにより、長く安全に使用することができると考えます。つまり、効果的な施設等の維持管理を行うことにより施設の改修を遅らせ、施設に係る総合的な費用の抑制を図ることができ、結果歳出抑制を図るものです。	消防施設（防火水槽）、小型動力ポンプ6台、福祉施設非常灯、公用車5台等の修繕の実施	9,681千円
	町道・林道維持事業	地域生活に密着した町道・林道については、利用していくことで年々経年劣化等が進みますが、常に良好な状態に保つように維持・修繕し、一般交通に支障のないように努めなければなりません。そのために沿線の草刈り、路面補修や付帯構造物の改修等必要な維持補修作業を実施することにより、安全性や快適性等の確保をはじめ、災害の軽減及び長期的な維持管理経費の縮減を図るものである。	・林道三国越線・野田線除草業務 三国越線(L: 2.382km A: 4,764㎡)、野田線(L: 1.416km A: 2,382㎡) ・林道切山線・横川線除草業務 切山線(L: 1.977km A: 3,954㎡)、横川線(L: 4.273km A: 8,546㎡) ・町道笠置～有市線道路擁壁改修工事 1カ所 ・町道笠置～有市線他道路維持修繕工事(笠置有市線 A: 660㎡、有市峠阪線 A: 448㎡、峠法面部 A: 1,504㎡)	2,679千円
	町道・林道維持事業(地元管理)	町道の草刈り作業を地区住民(飛鳥路区)に依頼することにより、交通に支障のある箇所は複数回実施するなど、地域のニーズに合った管理がされる。	2.2km×1.0m	40千円
	町営住宅管理事業	建築後相当年数が経過している当町の町営住宅は、所々修繕が必要となっています。住宅の実態把握に努め、安心・安全の観点から本年度では、住環境の維持を図るための草刈りや、緊急性の高い水回り修繕等を中心に実施し、施設の長寿命化を図るとともに、長期的な経費の削減を図る。	町内にある公営住宅のうち、有市住宅修繕6戸、奥田住宅修繕1戸で台所・風呂釜修繕、和室・玄関ドア修繕、電気設備修繕、ガス・排水管修繕等の実施	9,843千円

京都府市町村体制づくり支援交付金 自己評価調書

団体名： 笠置町

	運動公園住民共同管理事業	地域住民が、子どもから大人まで生涯にわたってスポーツを親しむための施設として設置し、生涯スポーツ並びに地域住民のコミュニケーションの場として、施設の維持管理をNPO法人へ委託する。	管理委託料1,502千円	4,798千円
	教育施設長寿命化事業（笠置小学校・笠置町中央公民館）	笠置小学校や笠置町中央公民館施設については老朽化が進み、子どもからお年寄りまでが安心して学べる場を保障するためには大幅な改築等が必要であるが、そのためには多額の財政負担を強いられるので、必要最低限の部分を改修し、可能な限り施設の長寿命化を図った。	小学校校舎3階のモルタル剥離修繕、体育館水道不通復旧事業及び浄化槽放流ポンプ他修繕。 中央公民館では、屋上建屋の解体工事の実施。	5,238千円
広域連携事業支援	消防庁舎附帯設備保守改修事業	老朽化の激しい消防庁舎の改修を行い、長寿命化を図ることにより経費の削減に努めました。	本部庁舎附帯設備である指令装置、通信設備、浄化槽設備の改修、木津西出張所の訓練塔の設備改修の実施	379,193千円

（記載要領）

- 1 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 2 「主な実績数値（出来高数値等）」、「事業効果」については、出来るかぎり数値化した客観的な指標を記載すること。

京都市町村体制づくり支援交付金 自己評価調書

団体名

笠置町

2. 平成27年度 京都市町村体制づくり支援交付金事業の個別評価について 【小規模市町村支援・広域連携事業支援用 個別表】

支援区分		事業名・実施項目							
小規模市町村支援		施設等修繕事業							
事業着手前									
課題・現状	当町管理の庁舎をはじめとする公共施設や公用車等については、使用していくと少なからず経年劣化が進むが、それを最小限に留め、安全かつ快適に使用し続けるためには、メンテナンスや修繕等が必要となる。								
事業概要	庁舎等をはじめとする公共施設の管理上必要な点検等を実施する中で実態把握に努め、本年度では消防施設等の修繕、公用車の修繕、福祉施設の修繕を行った。経年劣化を最小限に留めることにより、長く安全に使用することができると考える。つまり、効果的な施設等の維持管理を行うことにより施設の改修を遅らせ、施設に係る総合的な費用の抑制を図ることが出来、結果歳出抑制を図る。								
期待される事業効果等	庁舎等をはじめとする公共施設や公用車等の整備に当たっては、これまでも必要最小限度に留めたため、それに係る維持メンテナンス費用に対しても低くすることが出来ている。現在も様々な面で経費削減を行っているが、従前より施設の整備段階からこうした維持経費を重視してきた部分が歳出削減に生きていると考える。 本年度も効果的な施設等の維持・管理を行うことにより、施設の長寿命化を促進し、経費削減に繋げたい。								
事業実績									
取組状況	本年度では、法定点検項目や公共施設等の管理上必要な点検等を実施する中で実態把握に努め、消防施設等の修繕、公用車の修繕や福祉施設の修繕を行った。その他、点検保守等のメンテナンスを専門知識に長けた業者に外部委託することで長期的な管理経費の削減に繋げるとともに、効果的に施設等の維持運営管理を行うことにより、施設の長寿命化を図った。								
主な実績数値 (出来高数値等)	消防施設(防火水槽)、小型動力ポンプ6台、福祉施設非常灯、公用車5台等の修繕の実施								
期待される事業効果等 に対する達成状況	○	(左の理由)	必要箇所のみ改修を実施することにより、経費の削減を図りつつ、施設等の長寿命化を図ることが出来た。						
事業効果									
事業効果の考え方	必要箇所のみ改修工事により公共施設の長寿命化と経費の削減効果を図る。								
年度	H27								
本事業を行わなかった場合に係る経費等(a)	10,900								
本事業の実績額(b)	1,219								
効果(a)-(b)	9,681								

(記載要領)

- 1 事業毎に調書を作成すること
- 2 「期待される事業効果等に対する達成状況」については、期待される効果を上回ったときは◎、概ね期待どおりの効果であるときは○、期待される効果を下回ったときは▲を記載すること。

京都市町村体制づくり支援交付金 自己評価調書

団体名

笠置町

2. 平成27年度 京都市町村体制づくり支援交付金事業の個別評価について 【小規模市町村支援・広域連携事業支援用 個別表】

支援区分		事業名・実施項目	
小規模市町村支援		町道・林道維持事業	
事業着手前			
課題・現状	笠置町における町道・林道の整備状況は、道路幅員の狭少が目立っており、現在の自動車の普及率の上昇、また近年住民の健康対策として自主的に行われているウォーキングにより、自動車運転者、歩行者共々安全な通行の確保が望まれている。		
事業概要	地域生活に密着した町道・林道については、利用していくことで年々経年劣化等が進むが、常に良好な状態に保つように維持・修繕し、一般交通に支障のないように努めなければならない。 本年度では、町道笠置～有市線をはじめとする道路等の除草作業や擁壁改修工事等を実施し、道路等の安全性や快適性等の確保を図り、災害の軽減及び長期的な維持管理経費の縮減を図った。		
期待される事業効果等	地域生活に密着した町道・林道については、利用していくことで年々経年劣化等が進むが、日常的な点検作業や除草及び補修作業等により、良好な状態を保つことが出来、いつでも安心・安全に利用できるようにするとともに、道路等施設の長寿命化が図れる。		
事業実績			
取組状況	地域生活に密着した町道・林道については、利用していくことで年々経年劣化等が進むが、常に良好な状態に保つように維持・修繕し、一般交通に支障のないように努めなければならない。そのために町内巡回を実施することで、町道・林道の状況を把握することで、事後的な修繕から予防的な修繕として事業を実施し災害の軽減及び長期的な管理経費の削減を図るものである。27年度については、町内6路線他の除草及び即刻清掃等を実施することにより、道路の安全性や快適性等の確保を図った。		
主な実績数値 (出来高数値等)	<ul style="list-style-type: none"> ・林道三国越線・野田線除草業務 三国越線(L:2.382km A:4,764㎡)、野田線(L:1.416km A:2,382㎡) ・林道切山線・横川線除草業務 切山線(L:1.977km A:3,954㎡)、横川線(L:4.273km A:8,546㎡) ・町道笠置～有市線道路擁壁改修工事 1カ所 ・町道笠置～有市線他道路維持修繕工事(笠置有市線 A:660㎡、有市峠阪線 A:448㎡、峠阪法面部 A:1,504㎡) 		
期待される事業効果等 に対する達成状況	○	(左の理由)	全面改修ではなく、必要箇所のみ改修を実施することにより、経費の縮減を図りつつ、安心・安全な町道・林道の維持を図ることが出来た。
事業効果			
事業効果の考え方	全面改修ではなく、必要箇所のみ改修を実施することにより、経費の縮減を図る。		
年度	H27		
本事業を行わなかった場合に係る経費等(a)	6,874		
本事業の実績額(b)	4,195		
効果(a)-(b)	2,679		

(記載要領)

- 1 事業毎に調書を作成すること
- 2 「期待される事業効果等に対する達成状況」については、期待される効果を上回ったときは◎、概ね期待どおりの効果であるときは○、期待される効果を下回ったときは▲を記載すること。

京都市市町村体制づくり支援交付金 自己評価調書

団体名

笠置町

2. 平成27年度 京都市市町村体制づくり支援交付金事業の個別評価について 【小規模市町村支援・広域連携事業支援用 個別表】

支援区分	事業名・実施項目						
小規模市町村支援	町道・林道維持事業(地元管理)						
事業着手前							
課題・現状	笠置町における町道・林道の整備状況は、道路幅員の狭少が目立っており、現在の自動車の普及率の上昇、また近年住民の健康対策として自主的に行われているウォーキングにより、自動車運転者、歩行者共々安全な通行の確保が望まれている。						
事業概要	町道の草刈り作業を地区住民(飛鳥路区)に依頼することにより、交通に支障のある箇所は複数回実施するなど、地域のニーズに合った管理がされる。						
期待される事業効果等	地区住民に依頼することにより、地域のニーズに合った管理ができるとともにコスト削減にも繋がる。						
事業実績							
取組状況	飛鳥路区と町内を連絡する潜没橋は木津川の増水により年間4~5回通行止めとなる。通行止めの際の迂回路として本町道が唯一の路線となる。本路線は、幅員狭小であり草木が繁茂すると通行に支障をきたす。このような状況になる前に年2回、飛鳥路区で除草及び維持管理を実施し、安心・安全な通行を確保した。						
主な実績数値 (出来高数値等)	町道有市柳生線除草作業 2.2km×1.0m						
期待される事業効果等 に対する達成状況	○	(左の理由)	地元地区(飛鳥路区)に管理を依頼することにより、地域のニーズに沿った管理が行われ、かつコストの削減にも繋がった。				
事業効果							
事業効果の考え方	地元地区に維持管理を委託することにより、地域のニーズに沿った管理作業が出来るとともに、かつ設計金額より約20%の経費削減が図れた。						
年度	H27						
本事業を行わなかった場合に係る経費等(a)	190						
本事業の実績額(b)	150						
効果(a)-(b)	40						

(記載要領)

- 1 事業毎に調書を作成すること
- 2 「期待される事業効果等に対する達成状況」については、期待される効果を上回ったときは◎、概ね期待どおりの効果であるときは○、期待される効果を下回ったときは▲を記載すること。

京都市町村体制づくり支援交付金 自己評価調書

団体名

笠置町

2. 平成27年度 京都市町村体制づくり支援交付金事業の個別評価について 【小規模市町村支援・広域連携事業支援用 個別表】

支援区分	事業名・実施項目						
小規模市町村支援	町営住宅管理事業						
事業着手前							
課題・現状	現在笠置町の公営住宅は、建築してから相当年数が経っており、入居者等から住宅の建て替え等の要望はあるが、本町の財政状況では老朽住宅の建て替えは困難であるため、今後も安全面を最優先に必要な部分改修の必要性が生じている。						
事業概要	建築後相当年数が経過している当町の町営住宅は、所々修繕が必要となっています。住宅の実態把握に努め、安心・安全の観点から本年度では、住環境の維持を図るための草刈りや、緊急性の高い水回り修繕等を中心に実施し、施設の長寿命化を図るとともに、長期的な経費の削減を図る。						
期待される事業効果等	新たに建て替えを行うには財政負担が大きすぎるため、緊急性の高い箇所の維持修繕を実施することで、入居者に快適な住宅環境の維持・提供を図るとともに、施設の長寿命化、長期的な経費の削減を図る。						
事業実績							
取組状況	町内にある公営住宅については、建築後相当年数が経過し老朽化が進んでいる。しかし新たな建替えや大規模修繕を行うには、財政負担が大きすぎるため、各々の住宅の実態把握に努め、安心・安全の観点から必要な維持修繕を進めるとともに、予防的な改修を進め施設の長寿命化を図り、長期的な経費の削減を図った。						
主な実績数値 (出来高数値等)	町内にある公営住宅のうち、有市住宅修繕6戸、奥田住宅修繕1戸で台所・風呂釜修繕、和室・玄関ドア修繕、電気設備修繕、ガス・排水管修繕等の実施						
期待される事業効果等 に対する達成状況	○	(左の理由)	補修工事等により住宅の長寿命化が図れた。				
事業効果							
事業効果の考え方	建隊費4億3千9百万円、残存年数が6年～11年の住宅41戸を長寿命化により40年に延長する。						
年度	H27						
本事業を行わなかった場合に係る経費等(a)	11,772						
本事業の実績額(b)	1,929						
効果(a)-(b)	9,843						

(記載要領)

- 1 事業毎に調書を作成すること
- 2 「期待される事業効果等に対する達成状況」については、期待される効果を上回ったときは◎、概ね期待どおりの効果であるときは○、期待される効果を下回ったときは▲を記載すること。

京都市町村体制づくり支援交付金 自己評価調書

団体名

笠置町

2. 平成27年度 京都市町村体制づくり支援交付金事業の個別評価について
【小規模市町村支援・広域連携事業支援用 個別表】

支援区分		事業名・実施項目					
小規模市町村支援		運動公園住民共同管理事業					
事業着手前							
課題・現状	本町では、定員適正化計画に基づき職員の定員管理を実施し、職員の絶対数が少ない中で適正配置に努め、住民サービスの向上と行政需要の増加への対応してきた。今後も職員数の増加をできるだけ抑制し、各部門の類団比較を参考にしながら適正配置に努める必要がある。						
事業概要	子どもから大人まで生涯にわたってスポーツを親しむための施設として設置した運動公園は、生涯スポーツ並びに地域住民のコミュニケーションの場として利用されている。その施設の維持管理をNPO法人へ委託することにより、長期的な施設の維持管理経費の削減を図った。						
期待される事業効果等	管理運営費の経費削減が図られるとともに、多様化する住民ニーズに対応するための人員の確保が図られる。						
事業実績							
取組状況	地域住民の子どもから大人まで生涯にわたってスポーツを親しむための施設として設置した運動公園の維持管理をNPO法人へ委託することにより、長期的な施設の維持管理経費の削減を図った。						
主な実績数値 (出来高数値等)	管理委託料1,502千円						
期待される事業効果等 に対する達成状況	○	(左の理由)	維持管理のため職員を1名配置した場合6,300千円必要となるため				
事業効果							
事業効果の考え方	運動公園管理業務として職員を配置した場合の人件費との比較【単位:千円】						
年度	H27						
本事業を行わなかった 場合に係る経費等(a)	6,300						
本事業の実績額(b)	1,502						
効果(a)-(b)	4,798						

(記載要領)

- 1 事業毎に調書を作成すること
- 2 「期待される事業効果等に対する達成状況」については、期待される効果を上回ったときは◎、概ね期待どおりの効果であるときは○、期待される効果を下回ったときは▲を記載すること。

京都府市町村体制づくり支援交付金 自己評価調書

団体名 笠置町(相楽中部消防組合)

2. 平成27年度 京都府市町村体制づくり支援交付金事業の個別評価について 【小規模市町村支援・広域連携事業支援用 個別表】

支援区分	事業名・実施項目								
広域連携事業支援	消防庁舎附帯設備保守改修事業								
事業着手前									
課題・現状	消防庁舎は、災害時の拠点となる強固な施設であるべきですが、現在の庁舎は、老朽化が進み補修箇所が多く発生している現状です。新たに建て替えを行うには、財政負担が大きいことから、現施設を長寿命化する手立てを行い、財政負担を軽減しつつ維持しなければならない。								
事業概要	老朽化が激しい本部庁舎附帯設備である指令装置、通信設備、浄化槽設備の改修、木津西出張所の訓練塔の設備改修を行うことによって庁舎の長寿命化を図り、経費削減につとめる。								
期待される事業効果等	保守改修によって設備本体の延命を図る事ができ、経費削減となる。								
事業実績									
取組状況	<p>当消防組合(木津川市及び相楽郡2町1村(笠置町・和束町及び南山城村))は6箇所に消防庁舎があり、災害時には拠点となる強固な施設であるべきですが、現在の各庁舎は、老朽化が進み補修箇所が多く発生している現状です。新たに建て替えを行うには、財政負担が大きいことから、改修等によって現施設を長寿命化する手立てを行い、財政負担を軽減しつつ維持することになります。</p> <p>具体的には、すでに耐用年数を経過し、老朽化が激しい本部庁舎附帯設備である指令装置(耐用年数経過15年)、通信設備(耐用年数経過26年)、浄化槽設備(耐用年数経過26年)の改修、木津西出張所の訓練塔の改修を行います。特に各庁舎を結ぶ通信網は、アナログ回線となっている箇所があり、災害時の指令が途中で切れる等の不具合が出ており、改修事業が急務となっています。</p> <p>本部庁舎については移設建設計画(時期未定)が考えられているため、各設備を更新するよりも改修することによって庁舎の長寿命化を図りつつ経費削減につとめるものです。</p>								
主な実績数値 (出来高数値等)	更新費用約516,000,000円 改修費用 136,807,000円								
期待される事業効果等 に対する達成状況	○	(左の理由)	各設備を改修したことによって庁舎の長寿命化が図れ、経費削減となった。						
事業効果									
事業効果の考え方	改修により、設備本体の延命を図る事ができ、経費削減となる。								
年度	H27	H28	H29	H30	H31	5年延長時			
本事業を行わなかった場合に係る経費等(a)	516,000	1,434	1,434	1,434	1,434	521,736			
本事業の実績額(b)	136,807	1,434	1,434	1,434	1,434	142,543			
効果(a)-(b)	379,193	0	0	0	0	379,193			

(記載要領)

- 1 事業毎に調書を作成すること
- 2 「期待される事業効果等に対する達成状況」については、期待される効果を上回ったときは◎、概ね期待どおりの効果であるときは○、期待される効果を下回ったときは▲を記載すること。